

豊島区議会議員 (無所属の会) 01号 塚田ひさこの 区議会通信

～みんなで決めよう豊島の未来～
新しい風を豊島区議会へ。
1期目の塚田ひさこと
豊島の未来を考える通信です。

発行日：2020年9月27日
発行：無所属の会
発行責任者：塚田ひさこ

連絡先
〒171-8499
豊島区南池袋2-45-1
豊島区役所9階（無所属の会 控え室）
TEL：03-4566-2973
FAX：03-3980-5174

@hisakotsukada9
tsukada@toshima.site
WEB：https://toshima.site/



コロナ禍を経た、豊島のまちは、どうあるべきか？
みんなで考えましょう。

2年目の議員活動中です！

2019年4月21日の地方統一選挙において豊島区議会に送っていただいたから、はや1年5ヶ月が過ぎました。昨年度は会派に属さないひとり議員でしたが、今年の4月から市民派の無所属議員として活動を始め、5月1日より「無所属の会」に合流をしました。わが哲代幹事長、ふるぼう知生議員、入江あゆみ議員と4人の会派となり、私は副

幹事長に拝命されました。会派の代表が集まる「正副幹事長会」にも参加できるようにになり、一般にはわかりにくい議会の仕組みや議会がどのように進んでいるのかを、日々目の当たりにしているところです。区民のみなさんに議会がもっと身近なものになるように、様々な機会を捉えて、議会のあり方についても発言や発信をしていきたいと考えています。こうした環境の変化もあり、2年目の今年は新たに「リ・スタート」の気持ちで議員活動に臨んでおります。

新型コロナウイルス感染症の困難さに立ち向かった先に

今年の3月より、新型コロナウイルス感染症の影響が世界規模で出ています。私たちの日々の生活や地域活動のあり方も一変しました。未だ世界中がコロナ禍の只中にあり、まだまだ先の見えない状態が続いております。この間区民のみなさんからは、生活に直結したお困り事について、区の窓口にとくさんの相談が寄せられました。3月から8月

今こそ「区民参加」で、新しい「持続可能なまちづくり」を考えよう

豊島区は国が選定する「2020年度SDGs 未来都市」に選ばれました。「誰をも受け入れ、誰からも受け入れられ、持続して発展する豊島区」という新しいキャッチフレーズも加わりました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を、今こそまちづくりにも活かすべきだと考えます。そのためには、トップダウンでまちづくりを進めるのではなく、区民のみなさんと一緒にまちづくりをしていくことが不可欠です。

ぜひハガキでご意見・ご提案をお寄せください。

郵便ハガキ

171-8422

おそ
るが
れり
切り
手
を
貼
り
切
り
手
を
貼
り
切
り
手

豊島区南池袋2-45-1
豊島区役所9階
(無所属の会 控え室)
塚田ひさこ行

あなたご自身について
(差し支えない範囲でお知らせください)

お名前

ご住所

メール

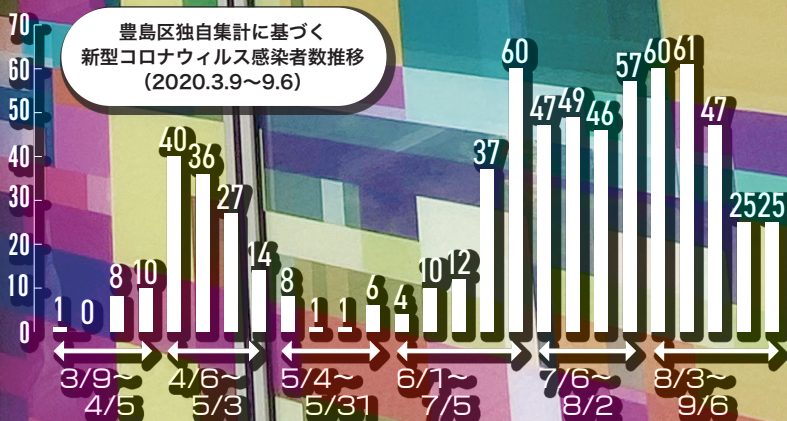
年齢

ご職業

「塚田ひさこの区議会通信」を送らせていただきます。

しい社会や政治が現れる、その変化の一端になれば…。みなさんとながって一緒に未来の芽を作っていきたいと考えています。そのための仕掛けづくりを考え、勉強会なども積極的に展開していきます。ともに「豊島の未来」を考えていきましょう。

豊島区独自集計に基づく
新型コロナウイルス感染者数推移
(2020.3.9～9.6)



*棒グラフの数字は、週単位の感染者数を表す。現在は重症患者の数は減っている状況だが、区は引き続きの注意を呼びかけている。

区の新型コロナウイルス感染症に関する情報と相談窓口はこちら▶



塚田ひさこ（無所属の会・副幹事長）
【所属委員会】豊島副都心開発調査特別委員会 副委員長
都市整備委員会、行財政改革調査特別委員会、広報編集委員会 区政連絡会5地区 常任相談役（目白・雑司が谷・高田地区）

【プロフィール】1962年香川県高松市に生まれる。香川県立高松高校、成城大学文学部卒業。
1986年サントリー（株）勤務を経て、出版社にて雑誌・書籍編集、企画制作会社にて企業や公的イベントのIT広報に従事。2005年～憲法と社会問題を考えるウェブマガジン「マガジン9」に参画。2019豊島区議会議員初当選。
連載中！『チャコの区議会物語』https://maga9.jp/category/chako/

「Hareza（ハレザ）池袋」のシンボル「アーバンスクリーン（ミルチス・マチヨル / Mirys Malol Planetary Community：岡崎乾二郎デザイン）」の前で。
タワー棟「プリリアホール」区民センターの3Fの建物を結び、街の回遊性を生み出す。



2020年第2回定例会で一般質問を行いました

「ピンチをチャンスに変える！」新たな展望について

区民の命を守る今後の「区政運営」の方向性と具体策について聞きました。

コロナ禍によって、「コロナ以前よりあった問題が表に出てきました。また区役所の窓口や保健所、福祉事務所といった「行政のサービス」のあり方や重要性についても改めて考える必要があります。ステイホームが言われる中、羽田増便による豊島区上空の低空飛行による騒音問題もまた深刻です。区長よりそれぞれ答弁を得ました。



新型コロナウイルス感染症の影響で、生活が困難な方への支援について

問 今後、待ったなしの困窮者が増加した際の体制整備は。

答 4月・5月の生活保護の申請は192件、前年より23%増。現状は厚生労働省の通知主旨を踏まえ、現員で適切な保護の実施ができていますが、さらに保護の申請件数が増加した場合、速やかに必要な体制を整える。

問 困窮する若者・学生らを対象に非常勤職員に採用するなど公的サービスを担う人員を増やし、地域の雇用創出を考えては。

答 区は毎年、会計年度任用職員は年間50名程度募集しており、区内在率が43%と、地域の雇用創出に寄与している。新たに特別枠を設け採用するのは難しいが、困窮している若者、学生の個々の事情を十分に配慮した選考を実施する。

information

区政ミニ報告会&としまの未来について話そう会

2020年11月15日(日) 14時〜16時

@区民ホール集会室



*これから秋に向けて、予算要望の組み立てをします。区民のみなさんの意見の聞き取りを行いたいのので、ぜひご意見などをお聞かせください。詳細はWEBでお知らせします。Zoomによるオンラインに切り替わる場合もあります。ご了承ください。

議会スケジュール

第3回定例会(9月16日〜10月23日)

・決算特別委員会(10月7日〜10月21日)

第4回定例会(11月18日〜12月8日)(予定)

・請願、陳情受付締切(11月13日)



右から、わがい幹事長、入江議員、塚田、ふるぼう議員

無所属の会の私たちは苦しい環境の中で困難な生活を余儀なくされている若者から高齢者まで、全世代にわたってある生きづらさや貧困の問題に取り組むべく、自己研鑽につとめ、4人の持てる力を最大限発揮して、議会活動に真摯に向き合っています。

ウェブサイトでもアンケートを実施中です。地域のこと、生活のこと、区政のこと、議会のことなど、みなさんのご意見やご質問、どうぞお寄せください。



皆さんからのご意見を議会活動に活かしていきます。



「塚田ひさこの区議会通信 -01号」で気になった項目に✓してください。

- ☐ 豊島のまちはどうあるべきか?
- ☐ 一般質問を行いました
- ☐ 人権や差別、性暴力に関する決議採択
- ☐ 台風に乗った風水害対策

関心のあること(複数回答可)

- ☐ コロナ対策 ☐ 労働(雇用や賃金について)
- ☐ 地域の防災や安全 ☐ 食の安全 ☐ 教育
- ☐ 子育て ☐ 税金 ☐ 憲法、平和、人権
- ☐ ジェンダー ☐ 市民参画 ☐ 町会活動
- ☐ 多文化共生 ☐ 都心低空飛行問題
- ☐ 環境(脱炭素への取り組みやグリーンリカバリー政策)
- ☐ 文化政策
- ☐ その他()

これから取り組んでほしいことや勉強会のテーマ

区政への提案・要望など、ご自由にご記入ください。

人権や差別、性暴力に関する重要な決議・意見書・請願が採択されました

第2回定例会の本会議初日に、全会派での共同提案となった議員提出による決議「性暴力の根絶を目指す決議」「性犯罪に関する刑法規定の見直し」を求める意見書が可決されました。また本会議最終日に「議員による差別発言やヘイトスピーチへの対応を求める請願」採択が賛成多数で可決されました。

これらの決議や意見書、請願の採択によって豊島区議会は、「あらゆる性暴力は許さない」「あらゆる差別を許さない」「言葉の暴力にもきちんと対峙をする」という姿勢を示しました。決議に至るまでの経緯やその意義については、webマガジンに連載中のコラム「チャコの区議会物語」に詳しく書きましたので、ぜひお読みください。性暴力については「黙っている、無関心でいること」もまた暴力である」ということを、改めて考えました。



コロナ感染症対策の元での台風に乗った風水害対策

これからの台風シーズンに備えて、区でも「新たな災害対策」のガイドラインを作成し対策を呼びかけています。

台風に乗った風水害対策

- ▶土砂災害、洪水ハザードマップを見て、ご自宅付近の環境を確認し備えましょう。
- ▶その上で、ハザードマップで自宅が浸水想定エリアに位置している場合は、垂直避難(例えば1階から2階以上の避難)ができる建物があるかどうか、または救援センターへの避難経路を事前に確認をし、検討しておきましょう。

「避難」についての考え方が変わります

▶感染症対策では、密を避けることが大切です。そのため区内には救援センターが設けられますが、救援センターに多くの人が集まることで感染リスクが高まります。状況に応じて「避難」先を考えましょう。

- ①自宅が安全な場合は自宅に留まる「在宅避難」を!
- ②避難先は救援センターだけではないと考えて、安全な親戚・知人宅への避難も検討を!
- ③家が損壊したなど自宅に留まることが危険と判断した場合は、迷わず「救援センター」へ避難!

災害時には区からの情報を直接手に入れよう

区安心メール	豊島区防災関連SNS	豊島区公式ホームページ	豊島区公式Twitter 区の防災危機管理課のツイッターがリニューアル。 @city_toshima と検索してください。
---------------	-------------------	--------------------	--

防災行政無線が雨風で聞こえない時は 電話 0120-021-131(無料)

(防災行政無線の電話確認サービス:無線の内容を電話で聞くことができます)